

南スーダン「スポーツを通じた平和促進」

2016年1月～継続中(2023年9月現在)



異なる出身地の女の子が仲良く応援する様子
(第7回大会)

背景/課題

過去の内戦や独立後の国内紛争の影響による民族間の緊張や不信感を抱える南スーダンでは、国民の和解・融和が喫緊の政策課題となっている。

目的

- スポーツを通じて国民間の多様性の尊重や民族・社会的融和、平和意識の醸成を促進し、紛争が再発しにくい社会の実現を後押しする。

活動内容

- 男女サッカー、男女陸上、女子バレーボール競技等を実施する全国スポーツ大会「国民結束の日」(National Unity Day)を開催
- ジュバ市内のスポーツクラブの活動支援や学校体育教師の能力強化支援
- 青年・スポーツ省のスポーツを通じた平和促進の取り組みを2016年1月より支援

成果

- 大会後、参加選手や観客からスポーツが民族融和と平和構築に果たす役割についての賛同の声が相次ぎ、平和促進やコミュニティ融和、若者や女子の社会参画促進を目的としたスポーツ活動・イベント等を開催する国内団体が増加した。
- 選手は平和促進ワークショップ等にも参加。また、異なる地域・部族の選手が10日間寝食を共にしたことで、大会後も交流が続いている。
- 女性のスポーツ参加を通じたエンパワメントとジェンダー平等に向け、第3回大会以降は女子バレーボール、第7回大会では女子サッカーが競技種目に追加された。また、南スーダン発祥の女性スポーツ「ボルボル」も披露された。
- 選手選考や準備プロセスにおける包摂性、公平性、透明性向上の意識を浸透させた。
- 「国民結束の日」サポーターとして、国内外からの資金協力や物資協力の輪が広がっている。